

# フロントタウンさぎぬまは 2026年に20周年を迎えます!!

川崎フロンターレが運営する、関東最大級の6面フットサルコートを有する「フロントタウンさぎぬま」は、川崎フロンターレの目指す理念「スポーツ文化の振興及びスポーツによる地域社会への貢献」を実現する存在として、2006年4月1日(土)にオープンしました。

鷺沼ふれあい広場と隣接した敷地であることから、広場との一体感を図り、環境への配慮と地域コミュニティの場としてフィットネスや健康教室なども開催しています。フットサル利用者でない方も気軽にクラブハウスを利用していただくことができます。



施設利用者や鷺沼ふれあい広場を利用されるお子さま連れのご家族のために、「キッズスペース」を2018年から設置しています。ソファで囲まれた柔らかいマットの上で、木のおもちゃで遊んだり絵本を読んだり、小さいお子さまにも安心して遊んでいただけるスペースとなっています。

そして、2025年11月から宮前図書館と協力して、絵本や児童書を並べるようにします。

小学生向けの児童書を増やすなど、さらにパワーアップした

キッズスペースへと生まれ変わります。

併設のカフェには、夏はかき氷!!冬は焼きいも!!と季節を感じるメニューをご用意しています。

買い物帰りや散歩などの途中にぜひお立ち寄りください。

フロントタウンさぎぬま公式ホームページ



これからも川崎フロンターレは、様々なことに挑戦し、川崎市を盛り上げていきます!

私のおすすめ!



## MF6 山本 悠樹 [やまもと・ゆうき]

選手プロフィール ■1997年11月6日生まれ / 滋賀県野洲市出身

正確なキックと優れたサッカーセンスでチームの攻撃をクリエイトするMF。昨シーズンG大阪から完全移籍で加入。徐々にチームにフィットし、シーズン後半戦は主力メンバーの一員として多くの試合に出場した。パスの出し手としてだけでなく攻守の切り替えやゴール前に入り込む意識も向上。今シーズンは背番号6に変更し、対戦相手にとって非常に厄介な選手としてピッチに君臨する。



### 『タルト・タタンの夢』

近藤 史恵 / 著 谷山 彩子 / 装画 内海 由 / 装幀  
東京創元社、創元推理文庫 / 出版 2014年

町の小さなフレンチレストランを舞台にした物語です。短編集で、文章もすごく読みやすいと思います。この本のレストランのシェフは美味しい料理を振る舞うだけではなく、お客さんの悩みを解決したり、不思議な出来事の謎を解いていきます。フランス料理のうんちくやちょっとしたミス터리要素もあり、最後には温かい気持ちになれるようなストーリーばかりです。いろいろな角度から楽しく読める一冊だと思います。

私のおすすめ!



## DF7 車屋 紳太郎 [くるまや・しんたろう]

選手プロフィール ■1992年4月5日生まれ / 熊本県熊本市出身

正確な左足のキックとスピード、カバーリング技術で最終ラインを統率するDF。相手のマークをはがしてボールを運び攻撃の起点となるプレーも彼の魅力。ここ数年はケガの影響により出場試合数が減っているが、万全であればディフェンスリーダーとして最終ラインの軸になれるはず。プロ入り11年目。円熟期を迎えた背番号7が復活を期して新たなシーズンに挑む。



### 『長友佑都の食事革命』

長友 佑都 / 著  
マガジンハウス / 出版 2017年

サッカー日本代表の長友佑都さんの本です。長友さんがプロのキャリアの中で食事メニューを見直し実践することで、自分の体質や体調がどう改善されたかが書かれています。子どもの頃はそこまで食事に気を使わないかもしれませんが、この食べ物にはどういう栄養素が入っているのかを知っておいて損はないと思います。スポーツをやっている人はもちろん、仕事をしている人や、健康や美容に興味がある人にも非常に役立つ内容です。

私のおすすめ!



## FW11 小林 悠 [こばやし・ゆう]

選手プロフィール

■ 1987年9月23日生まれ / 東京都町田市出身

対面するDFと絶えず駆け引きをしながら相手の背後を取りゴール前に入り込む得点感覚に優れたストライカー。長年の経験で培われたさまざまなフィニッシュパターンも彼の魅力。得点への執着心や勝利への執念は人一倍強く、チームが苦しい状況に追い込まれたときこそ真価を発揮する。プロ入り16年目を迎え熟練の域に入っているが、まだまだ小林悠の熱いプレーを見たい。



### 『給食室のいちにち』

大塚 菜生 / 文 イシヤマ アズサ / 絵  
少年写真新聞社 / 出版 2022年

学校給食がどうやって作られ、教室に届けられているのかがわかる絵本です。僕は給食が大好きで、小学校の頃は給食委員会に入っていたんですよ。でも、給食が作られる工程がこんなに大変なことなんだっていうのは知りませんでした。衛生管理を徹底しながら何百人分もの食事を作るってすごいことだと思いますし、本当に頭が下がります。改めて給食調理に関わる方々への感謝の気持ちが湧く一冊だと思うので、ぜひ読んでみてください。

私のおすすめ!



## MF19 河原 創 [かわはら・そう]

選手プロフィール

■ 1998年3月13日生まれ / 熊本県山鹿市出身

ピッチを駆け回り相手の攻撃の芽を摘み取るハードワーカー。チームの攻守をつなげるリンクマンでもある。90分間を通してアベレージの高いプレーができ、試合に出続けても使い減りしない体力も彼の魅力。昨年8月にサガン鳥栖から完全移籍で加入。すぐさま先発出場し、チームの中盤を引き締める役割を果たした。今シーズンはチームの主軸としてのステップアップが期待される。



### 『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやま けん・もり ひさし・わだ よしおみ / 作  
こぐま社 / 出版 1972年

かわいらしいイラストのしろくまちゃんが、おかあさんに手伝ってもらいながらホットケーキを作り、友だちのこぐまちゃんと一緒に食べてお片づけする絵本です。ホットケーキのレシピや作り方が細かく描かれているというよりは、準備をして自分で料理をすることの楽しさ、自分で作った料理を誰かと一緒に食べる喜びを感じられる一冊だと思います。誰かと一緒に読んだり、読み聞かせ用の絵本としてもいいと思います。

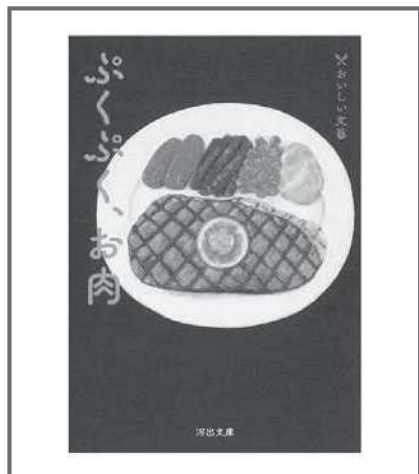
私のおすすめ!



## DF35 丸山 祐市 [まるやま・ゆういち]

選手プロフィール ■1989年6月16日生まれ／東京都世田谷区出身

経験に裏打ちされた落ち着いたプレーぶりと左足の正確なフィードが武器のセンターバック。コンビを組むセンターバックとのチャレンジ&カバーを徹底し、コーチングで周りを動かしチームを鼓舞する。昨シーズン、名古屋グランパスより完全移籍で加入。選手のやりくりが難しい時期のチームを支え、試合ではゴール前で体を張ってチームのピンチを救った。非常に頼りになる存在だ。



### 『ぷくぷく、お肉 おいしい文藝』

角田 光代・阿川 佐和子／ほか著  
河出書房新社／出版 2023年

たくさんの作家さんのお肉料理にまつわる話を集めたエッセイ集です。作風は作家さんによって全然違うのですが、すき焼き、カツレツ、焼肉など、それぞれのお肉料理への愛情や思い入れが伝わってきます。短いエッセイ集なので、時間があるときに少しずつ読むことができるのもいいですね。僕たちが知らないようなひと昔前の家族の食事風景の描写が出てきたりして、今の時代の人にとっては逆に新鮮に感じると思います。

私のおすすめ!



## FW38 神田 奏真 [かんだ・そうま]

選手プロフィール ■2005年12月29日生まれ／大阪府大阪市出身

左右両足、ヘディングと、どこからでもハイレベルなシュートが打てるボディバランスに優れたFW。昨シーズンに静岡学園高校から加入。ルーキーイヤーはプロとしての土台作りの時期が続いたが、シーズン終盤のACLエリートでデビューを果たし、途中出場で初得点を記録。Jリーグ初出場も果たした。U-20日本代表にもコンスタントに招集されており、日本の次世代を担うストライカーとして期待が寄せられている。



### 『わにわにのごちそう』

小風 さち／ぶん 山口 マオ／え  
福音館書店／出版 2007年

ワニのわにわにが登場する絵本です。わにわにが料理をしてご飯を食べるというシンプルで短いストーリーに、版画の絵柄がどこかシュールでかわいいです。わにわに自体はわりとリアルな姿をしたワニで性格的には大雑把な印象ですが、ユーモラスで憎めないタイプなんですよ。きっと子どもにも人気があるんだろうと思います。わにわにシリーズは他にも数冊出ているので、ぜひ手にとってみてください。